

平成29年度 第1回(通算55回) ソフィア発見講座(報告)

実施日 平成29年10月10日(火) 18:00
 会場 磐周教育研究所 大会議室
 主催 研究所 活動推進委員会

テーマ 「貧乏神を追い払う」

講師 祭主 田邊 哲
 (災禍転福貧乏神神社三倉分社)

1 主催者挨拶並びに講師紹介
 (副委員長 磯部 安 笠原小学校長)

普段、目の前の子どもたちのために突き進み、

自分に目を向けている時間がない先生方。今宵は、自分の人生を少し見つめ直して欲しい。田邊さんは、森町三倉の出身。村おこしのために多くの活動、講演会をおこなっている。本日の講演では、御自身がこれまでの人生で習得された、『生きるヒント』を笑いを交えながらお話ししていただきます。

2 講話
 ～私は、田邊口幸麻呂と言います。～

芸名をつけようかと。万葉歌人で田邊福麻呂がいると聞いて調べた。口幸麻呂と書いて「さきまる」。田邊口幸麻呂としました。社会教育に感心があった。社会に出ているいろんなことを勉強し、社会教育の大切さがわかった。

～思い通りの人生を送るには～

先生方は、小学校や中学校の子どもたちを相手に「人生とは」と教えている。まずは、自分自身の人生を大切にしてほしい。
 あるアンケートで、65歳以上の人に「あなたの人生は、どんな人生？」と尋ねると97%は「まあ、人生なんてこんなもんだよ」答えます。残りの3%は、「最高だよ、思い通りだよ」と答えます。どうやったらその「思い通り」3%の人生を送れるか？
 学生時代にそういうことを教えてくれる教科はなかった。子どもたちに「先生、思い通りの人生を送る方法を教えてよ」と言われたら、どう教えたらいいだろうか。
 かつて、会社の社長をやっていた。その頃、「会社のことも大切だがご自分の人生についても計画をたてているか」と聞かれた。考えてはいたが、文書化はしていなかった。「文書化」をするべきだと教えられた。

最高の人生を送っていると答える人たちは みんな自分の人生を文書化している。そのような人たちをまねるだけでいい。

もし書いていなければ、今すぐ書くべきである。箇条書きでよい。なにがほしいのか。どこへ行きたいか。どうなりたいか等を箇条書きで書くだけでよい。リストを作ったら優先順位をつける。大切なのは「いつまで」と期限を決めること。いつも紙を持っていて思い浮かんだらそれを書き入れて、いつまでと決めるといい。



できないことを「環境」のせいにしなさい。

たとえば不景気だから会社経営がうまくいかないと考えるのではなく、不景気だからこそ何ができるかと考える。森町三倉小では、全校児童が少ない。毎年、何人入学する？ということが話題になる。三倉小では入学生がいるが、春野の北小では、数年前、入学生がいない時があった。入学生がいないならと山羊を入学させることにした。「山羊の入学」は、まさに3%人生。山羊にピンキーと名前をつけ、子どもたちは、ピンキーの通信簿をつけることを提案した。ピンキーは6年生まで春野北小で過ごし、中学入学をお願いしたが中学には断られた。そこで、山羊の就職活動を始めた。袋井市のデンマーク牧場に就職することができた。一人も入学生がいないという状況に接したとき、ほとんどの人が暗い気持ちになるが、なんとかやれることがあるよという3%人生をおくれる人がいると、このような状況が生まれる。環境のせいにしなさい癖をつける。



長嶋茂雄氏は、常に明るくいよという生き方が染みついている。

いろいろなことが人生には起こるが、どんな状況に出くわしても、それにどう反応するかは自由が与えられている。ガンという病気があるが、それになってしまったとしても、どう反応するかという自由を私たちは持っている。

貧乏神を追い払うためには、神社に行ってお金をはらってもダメ。自分で追い払うしかない。太い棒で「貧乏神でていけ」と太い丸太を3回たたいて、3回けって、豆をまくと貧乏神が出ていく。3%は、「やったあ、貧乏神が出ていった、おれの人生万々歳」と喜ぶ。

自分が出くわしたことにどう反応するかを習慣づけする。

自分の人生の計画で実現することを箇条書きにし、順位付けしたら、上から3つぐらいは人に言った方がよい。

好きなことをやって人の役に立てるとよい。優先順位の中にそういうものを入れられるさらにと良い。

3 お礼・終わりの言葉

(顧問 神谷 比登美 富士見小学校長)

実はお話を聞くのは2回目。あれから15年。おかわりない声のほり、表情のほりは、笑いがもたらす成果。楽しい時間を過ごすことができた。

社会教育が大事であるというお話、4つの縁が大事であるということ聞いたことがある。血縁、地縁、有縁、職縁という4つの縁がもともとあったのだが、今は、そういう縁が薄くなってきている。目的別に集まる縁、第5つ目の縁というのがこれからの時代は大事だということ聞いてからもう10年ぐらいたっている。

今日のお話は「笑い」という目的をもってお仲間たちが一緒になっていい人生を送るためのそういった縁のあるお話だったのかなとうかがわせていただいた。

有言実行、宣言することが大事、書く、書いてもう「こうなる」決めたら、それに向かってどうすればそうなるかと進んでいく人生、超ポジティブ、そしてプラス思考、そして、幸せ思考、そんな考え方を今日は伝授していただいたかなと思います。

これから磐周の子どもたちがみんな笑顔で笑いのある人生を進めるように、私たちも務めていきたいと思う。今日は、元気のパワーを分けていただいていたありがとうございます。



